

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																							
東日本デザイン&コンピュータ専門学校	昭和61年3月10日	小林 一英	〒379-2184 群馬県前橋市小屋原町1098-1 (電話) 027-267-1171																							
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																							
学校法人山崎学園	昭和42年3月31日	遠山 巖	〒379-2184 群馬県前橋市小屋原町1145-1 (電話) 027-267-7945																							
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																						
商業実務	商業実務専門課程	デザイン学科(アートクリエイターコース)	平成17年文部科学大臣告示第177号	なし																						
学科の目的	本校は、学校教育法に基づき、教養教育と専門教育が調和した幅広い技術教育を行い、アート・デザイン分野及び雑貨・ファッションビジネス分野に関する知識技術を習得させ、もって産業界並びに社会公共に貢献できる人材を育成することを目的とする。																									
認定年月日	平成26年3月31日																									
修業年限	昼夜	講義	演習	実習	実験	実技																				
2年	1800時間	90時間	2400時間																							
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																					
240人	28人(122人の内数)	0人	4人	4人	19人																					
学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～3月31日		成績評価		■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 学期末試験、実習の成果、出席状況等を総合的に勘案																					
長期休み	■学年始め: 4月1日～4月7日 ■夏季: 7月22日～8月25日 ■冬季: 12月24日～1月10日 ■学年末: 3月22日～3月31日		卒業・進級条件		校長が成績評価の基準に従い認定する。																					
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 担任及び学生指導委員による対応		課外活動		■課外活動の種類 学生会組織、部愛好会、インターンシップ等  ■サークル活動: 有																					
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(令和2年度卒業生) (株)メディア22世紀、(株)ステッチ、パッケージ池島(株)、イラストレーター 他、デザイン会社、CG制作会社等 ■就職指導内容 担任および就職部による面接練習等  ■卒業者数 : 25 人 ■就職希望者数 : 25 人 ■就職者数 : 25 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 100 % ■その他 : 100 %  (令和2年度卒業生に関する令和3年5月1日時点の情報)		主な学修成果(資格・検定等)※3		■国家資格・検定/その他(民間検定等) (令和2年度卒業生に関する令和3年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Illustratorクリエイター能力認定試験</td> <td>③</td> <td>51人</td> <td>24人</td> </tr> <tr> <td>Photoshopクリエイター能力認定試験</td> <td>③</td> <td>21人</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>色彩検定</td> <td>③</td> <td>87人</td> <td>55人</td> </tr> <tr> <td>POP広告クリエイター技能審査試験</td> <td>③</td> <td>62人</td> <td>58人</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄		資格・検定名	種	受験者数	合格者数	Illustratorクリエイター能力認定試験	③	51人	24人	Photoshopクリエイター能力認定試験	③	21人	6人	色彩検定	③	87人	55人	POP広告クリエイター技能審査試験	③	62人	58人
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																							
Illustratorクリエイター能力認定試験	③	51人	24人																							
Photoshopクリエイター能力認定試験	③	21人	6人																							
色彩検定	③	87人	55人																							
POP広告クリエイター技能審査試験	③	62人	58人																							
中途退学の現状	■中途退学者 6名 令和2年4月1日時点において、在学者107名(令和2年4月1日入学者を含む) 令和3年3月31日時点において、在学者101名(令和3年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 学力不振、病氣、経済的理由等 ■中退防止・中退者支援のための取組 担任及び退学防止委員会による対応		■中退率 5.6%																							
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度 : 有 待制度 ■専門実践教育訓練給付 : 無																									
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価 : 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																									
当該学科のホームページURL	<a href="http://www.yamasaki.ac.jp/design-com/">http://www.yamasaki.ac.jp/design-com/</a>																									

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)  
最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知(25文科生第596号))」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。  
(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について  
①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。  
②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。  
③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年度に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について  
①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。  
②「就職」とは給料、賃金、報酬その他通常の収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。  
③上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1) 教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

本校の目的に応じて、情報通信業界の要請を十分に生かしつつ職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成するため、教育課程の編成において企業等が委員として参画する「教育課程編成委員会」を設置し、より実践的な職業教育の質の確保に組織的に取り組むものとする。

(2) 教育課程編成委員会等の位置付け

細則で「教育課程編成委員会」を学内に設置することを定め、学校組織図に明記し、位置づけを明確にしている。教育課程編成委員会は、意見を教務部に提出し、教務部において教育課程を編成し、校長及び理事会の承認をへて最終決定している。

(3) 教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和3年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
小林 一英	東日本デザイン&コンピュータ専門学校 校長	令和3年4月1日 ~ 令和4年3月31日(1年)	
朝日 泰博	東日本デザイン&コンピュータ専門学校 教務部長(デザイン学科)	//	
石川 靖	群馬県印刷工業組合	//	①
齋藤 徹	エイチレフ合同会社	//	③
平田 耕一郎	東日本デザイン&コンピュータ専門学校 学科長(デザイン学科)	//	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ① 業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ② 学会や学術機関等の有識者
- ③ 実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4) 教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(開催日時)

年間開催数:2回(毎年5月、11月)

(5) 教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

「教育課程編成委員会」において各委員より出された意見を取り入れ、教務部において具体的な科目設定、授業内容の検討を行いカリキュラムを作成する。例えば、自分の作品に対する著作権について、PixivやTwitterなどでのリスク管理法や、著作権の問題を回避ための画像加工技術も学ばせるようにした。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業等の要請を踏まえ、専攻分野に関わる職業において即戦力とし活躍でき人材育成を目指す。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

専攻分野に関わる企業等において豊富な実務経験を有し、業界の動向に知見を有する講師を選任し、実習・演習等の内容及び学修成果の達成度評価について打ち合わせを行い担当教員と連携しながら授業運営を行う。

(3) 具体的な連携の例

科目名	科目概要	連携企業等
イラストレーションⅢ・Ⅳ	イラストレーションの概要と意味を理解させ、それが求められる媒体を想定しながら、様々なイラストレーション技術を学習する。	都プランニング

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

細則ならびに研修規程に基づき、教育効果の向上のため、企業等が開催する研修会等へ参加をし、知識、技術、技能などの修得に勤め、担当業務等の遂行に当たり質の高い授業運営ができるようにしている。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

全教職員を対象に、関連業界団体・企業が主催する実務に関する知識・技術・技能についての下記講習会等に参加し専攻分野毎に実務研修を行った。

- ・令和2年9月4日(1日) 文化庁、群馬県主催 令和2年度著作権セミナー

② 指導力の修得・向上のための研修等

全教職員を対象に、外部実務家講師による生徒に対する指導力等の修得・向上のための研修会

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

全教職員を対象に、関連業界団体・企業が主催する実務に関する知識・技術・技能についての研修会等に参加し専攻分野毎に実務研修を行う。

② 指導力の修得・向上のための研修等

全教職員を対象に、指導力の修得・向上を目指し各方面の有識者を講師として招聘し講習会を開催する。  
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため全職員集合しての対面講習会について昨年度は中止

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

教育効果の向上のため、企業等が開催する研修会等へ参加をし、知識、技術、技能などの修得に勤め、担当業務等の遂行に当たり質の高い授業運営ができるようにする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	理念・目的・育成人材像・学校の特色等
(2) 学校運営	事業計画・人事や賃金での処遇に関する制度等
(3) 教育活動	教育目標・育成人材像と業界ニーズ・資格取得体制等
(4) 学修成果	就職率の向上・卒業生在校生の社会的活躍と評価等
(5) 学生支援	就職指導に関する体制・課外活動に対する支援体制等
(6) 教育環境	施設設備の整備状況等
(7) 学生の受入れ募集	適正な学生募集活動・教育成果の適正な報告
(8) 財務	中長期における財務基盤の安定・財務に関する適正な会計監査
(9) 法令等の遵守	法令、設置基準等の遵守と運営・個人情報保護に関する対策
(10) 社会貢献・地域貢献	
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

「教員研修を充実し、教職員のモチベーション向上をさらに推進してほしい」との意見があり、教職員研修委員会において、教職員全員参加の集合研修や分野別に各教職員の実務研修の充実を図っている。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和3年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
神澤 紀江	東日本デザイン&コンピュータ専門学校(ビジネス2校) 父母の会会長	令和3年4月1日 ~ 令和4年3月31日(1年)	PTA
鈴木 誠	一般社団法人 群馬県情報サービス産業協会理事	〃	企業委員
廣田 毅文	有限会社 富士メディアサービス 代表取締役	〃	企業委員
根岸 誠	フジコー株式会社 代表取締役	〃	企業委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。  
(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

URL:<http://www.yamasaki.ac.jp/design-com/14.html>

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

社会に対する説明責任を果たし、社会全体からの信頼および企業等との連携や協力を得る。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	校長名・所在地・連絡先等・特徴・沿革、教育目標・経営方針・教育指導計画・諸活動に関する計画
(2)各学科等の教育	入学者選抜の方針・方法、定員数・入学者数・在学者数・カリキュラム等進級・卒業の要件等、取得を目指す資格、合格を目指す資格等、資格取得、検定試験合格等の実績、卒業者数、卒業後の進路
(3)教職員	教職員数、教職員の組織・専門性
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み状況、実習・実技への取り組み状況、就職支援への取り組み状況
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事への取り組み状況、課外活動(サークル活動、学生会活動)等の状況
(6)学生の生活支援	学生支援への取り組み状況
(7)学生納付金・修学支援	学生納付金の取扱、活用できる就学支援措置の内容
(8)学校の財務	事業報告書、貸借対照表、収支計算書、監査報告書など
(9)学校評価	自己評価・学校関係者評価の結果
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

URL:<http://www.yamasaki.ac.jp/design-com/14.html>

## 授業科目等の概要

(商業実務専門課程デザイン学科アートクリエイターコース) 令和3年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 単 位 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			色彩論	色彩に関する理論や様々な知識を学習し、また実践的な活用も習得する ・色彩科学・色彩心理・色彩調和(配色) ・色彩と生活(ファッション・インテリア)	1前後	60	4	○			○			○	
○			ビジネスマナー	・ビジネスマナーの基本学習(社会人としてのマナーを身につける) ・話し方・敬語の使い方 ・指示の受け方と報告・連絡・相談 ・電話対応、来客対応	1前後	60	2		○		○			○	
○			Word	・Microsoft Word基本操作 文字入力・文書作成・表作成 ・ビジネス文書のライティング技術 ・電子メールのライティング技術	1前・2前	60	2		○		○			○	
○			Excel	・Microsoft Excel基本操作 データ入力・関数・表の作成 ・グラフの作成 ・データベース	1後・2後	60	2		○		○			○	
		○	コースミートイング	LHR的な位置づけの授業科目 ・就職活動への準備と対策 自己分析・業種・職種研究 筆記及び面接試験対策 ・各種検定試験対策	1前後・2前後	120	4		○		○		○		
		○	校外研修・特活	普段校内で得られない幅広い専門知識や経験を得ることと並びに自立心、協調性などの育成を目的とする ・校外研修(美術展鑑賞など)・スポーツ大会	1期間・2期間	60	2		○			○	○		
		○	学園祭	本校学園祭における催し企画立案から準備作業、学園祭当日の運営まで一連の作業を通して、自立心、協調性などの育成を目的とする	1期間・2期間	60	2		○		○		○		
○			デッサン	静物、人物などを写生することを通して、立体としての物の見え方や空間認識を学びながら基礎的な造形感覚を養成 ・デッサン概説・用具の使い方 ・構図のとり方・空間のとらえ方	1前後・2前後	240	8		○		○			○	
○			造形基礎演習	平面作品制作を中心に様々な制作実習を通して、造形的基礎力を養成 ・画材とその用法の学習・色彩構成(配色と構図) ・絵画的表現方法の研究	1前後・2前後	360	12		○		○		○		
合計					9科目	1080単位時間(38単位)									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件は、1800時間以上かつ63単位以上を満たすものとする。 また、必修選択科目は指定されている科目数を必ず履修する必要がある。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

## 授業科目等の概要

(商業実務専門課程デザイン学科アートクリエイターコース) 令和3年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			デジタルイラスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペイント系CGソフトの基本操作</li> <li>・ペンタブレットを活用したペイント技術</li> <li>・CGイラストの表現技法、テクニック学習</li> <li>・キャラクターデザイン・デジタルマンガ</li> <li>・背景、エフェクト表現</li> </ul>	1 前後	120	4	○			○		○		
○			Illustrator演習	Illustratorの基本操作からパス描画やグラフィックデザインの基礎技術を学習する ・ツールの使い方、効果 ・パスを使ったオブジェクト描画 ・印刷物のレイアウト技術	1 前	60	2	○			○		○		
		○	POP広告デザイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・POP広告の基本知識・技法について</li> <li>・基本書体について</li> <li>・レイアウトについて</li> <li>・POP検定対策</li> </ul>	1 前	30	1	○			○		○		
○			ベーシックデザイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Photoshop操作の基礎</li> <li>・画像合成やレタッチなどの演習</li> <li>・DTPの基本と広告デザイン</li> <li>・CIとロゴタイプ制作</li> </ul>	1 後	60	2	○			○		○		
○	○		イラストレーション	イラストレーションの概要と意味を理解させ、それが求められる媒体を想定しながら、様々なイラストレーション技術を学習する ・挿絵 ・装丁画 ・コミックイラスト	1 前後・ 2 前後	240	8	○						○	○
	○		コンペ対策	絵画・イラスト・デザインに関連するコンペティションに応募、入賞を目指し作品を制作 ・各種コンペの傾向と対策	1 前後・ 2 前	180	6	○					○		
	○		マンガ基礎	マンガ制作における基礎的知識、技術の学習 ・ペン、トーンなど用具の使い方 ・ネームの描き方の基礎 ・背景(透視図法) ・複製原画トレース	1 前	60	2	○						○	
	○		マンガ制作	持ち込み、応募を目的としたマンガ制作 ・プロットの作り方 ・ネームの描き方 ・下描きからペン入れ ・修正と加筆	1 後・ 2 前後	300	10	○						○	
○			クロスメディア演習	様々なメディアとゲーム・アニメなどで使用されるデジタルコンテンツの作成と活用法	2 前後	120	4	○			○		○		
合計					9科目	1170単位時間( 39単位)									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件は、1800時間以上かつ63単位以上を満たすものとする。 また、必修選択科目は指定されている科目数を必ず履修する必要がある。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

## 授業科目等の概要

(商業実務専門課程デザイン学科アートクリエイターコース) 令和3年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			グラフィックデザイン	主にDTPソフトを使用してその実戦的技術を学習する ・グラフィックデザイン(冊子誌面レイアウト) ・GIFアニメーションによる動画編集 ・Webデザインの基礎	2 前 後	120	4	○			○		○		
○			デザイン史	近代デザイン史を中心に19世紀後半から現在までのグラフィックデザイン、建築、アートの動向について概観していく ・アーツ&クラフツ運動からパウハウス ・モダニズムからポストモダン	2 前	30	2	○			○		○		
		○	キャリアデザイン	主に就職活動を中心とした進路指導 ・自己PR、志望動機作成 ・面接指導 ・個人カウンセリング	1 後	30	1	○			○			○	
		○	卒業制作	卒業・進級制作展に展示することを目標として、2年間の集大成としての作品制作	2 後	60	2	○			○		○		
合計				4科目		240単位時間( 9単位)									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件は、1800時間以上かつ63単位以上を満たすものとする。 また、必修選択科目は指定されている科目数を必ず履修する必要がある。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																					
東日本デザイン&コンピュータ専門学校	昭和61年3月10日	小林 一英	〒379-2184 群馬県前橋市小屋原町1098-1 (電話) 027-267-1171																					
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																					
学校法人山崎学園	昭和42年3月31日	遠山 巖	〒379-2184 群馬県前橋市小屋原町1145-1 (電話) 027-267-7945																					
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																				
商業実務	商業実務専門課程	デザイン学科(メディアクリエイターコース)	平成17年文部科学大臣告示第177号	なし																				
学科の目的	本校は、学校教育法に基づき、教養教育と専門教育が調和した幅広い技術教育を行い、アート・デザイン分野及び雑貨・ファッションビジネス分野に関する知識技術を習得させ、もって産業界並びに社会公共に貢献できる人材を育成することを目的とする。																							
認定年月日	平成26年3月31日																							
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時間又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																	
	2年	1800時間	120時間	2040時間																				
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																			
240人	23人(122人の内数)	2人	3人	3人	19人																			
学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～3月31日		成績評価		■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 学期末試験、実習の成果、出席状況等を総合的に勘案																			
長期休み	■学年始め: 4月1日～4月5日 ■夏季: 7月22日～8月23日 ■冬季: 12月23日～1月7日 ■学年末: 3月23日～3月31日		卒業・進級条件		校長が成績評価の基準に従い認定する。																			
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 担任及び学生指導委員による対応		課外活動		■課外活動の種類 学生会組織、部愛好会、インターンシップ等  ■サークル活動: 有																			
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(平成30年度卒業生) (株)大洋社印刷所、(株)シネマプロ、マルキンアド(株) 他 広告・印刷会社、WEB・映像制作会社等 ■就職指導内容 担任および就職部による面接練習等		主な学修成果(資格・検定等)※3		■国家資格・検定/その他(民間検定等) (令和2年度卒業生に関する令和3年5月1日時点の情報)																			
	■卒業者数 : 12 人 ■就職希望者数 : 11 人 ■就職者数 : 11 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 91.7 % ■その他				<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Illustratorクリエイター能力認定試験</td> <td>③</td> <td>51人</td> <td>24人</td> </tr> <tr> <td>Photoshopクリエイター能力認定試験</td> <td>③</td> <td>21人</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>色彩検定</td> <td>③</td> <td>87人</td> <td>55人</td> </tr> <tr> <td>POP広告クリエイター技能審査試験</td> <td>③</td> <td>62人</td> <td>58人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当する者が記載する。 ① 国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ② 国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③ その他(民間検定等)</p>			資格・検定名	種	受験者数	合格者数	Illustratorクリエイター能力認定試験	③	51人	24人	Photoshopクリエイター能力認定試験	③	21人	6人	色彩検定	③	87人	55人	POP広告クリエイター技能審査試験
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																					
Illustratorクリエイター能力認定試験	③	51人	24人																					
Photoshopクリエイター能力認定試験	③	21人	6人																					
色彩検定	③	87人	55人																					
POP広告クリエイター技能審査試験	③	62人	58人																					
中途退学の現状	■中途退学者 6名 令和2年4月1日時点において、在学者107名(令和2年4月1日入学者を含む) 令和3年3月31日時点において、在学者101名(令和3年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 学力不振、病気、経済的理由等 ■中退防止・中退者支援のための取組 担任及び退学防止委員会による対応		■中退率 6.1%																					
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度 : 有 待制度 ■専門実践教育訓練給付 : 無																							
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価 : 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																							
当該学科のホームページURL	<a href="http://www.yamasaki.ac.jp/design-com/">http://www.yamasaki.ac.jp/design-com/</a>																							

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)  
最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。  
(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について  
①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。  
②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者であり、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。  
③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について  
①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。  
②「就職」とは給料、賃金、報酬その他通常の収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。  
③上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野」に就職した者を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。



1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1) 教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

本校の目的に応じて、情報通信業界の要請を十分に生かしつつ職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成するため、教育課程の編成において企業等が委員として参画する「教育課程編成委員会」を設置し、より実践的な職業教育の質の確保に組織的に取り組むものとする。

(2) 教育課程編成委員会等の位置付け

細則で「教育課程編成委員会」を学内に設置することを定め、学校組織図に明記し、位置づけを明確にしている。教育課程編成委員会は、意見を教務部に提出し、教務部において教育課程を編成し、校長及び理事会の承認をへて最終決定している。

(3) 教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和3年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
小林 一英	東日本デザイン&コンピュータ専門学校 校長	令和3年4月1日 ~ 令和4年3月31日(1年)	
朝日 泰博	東日本デザイン&コンピュータ専門学校 教務部長(デザイン学科)	//	
石川 靖	群馬県印刷工業組合	//	①
齋藤 徹	エイチレフ合同会社	//	③
平田 耕一郎	東日本デザイン&コンピュータ専門学校 学科長(デザイン学科)	//	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ① 業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ② 学会や学術機関等の有識者
- ③ 実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4) 教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(開催日時)

年間開催数:2回(毎年5月、11月)

(5) 教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

「教育課程編成委員会」において各委員より出された意見を取り入れ、教務部において具体的な科目設定、授業内容の検討を行いカリキュラムを作成する。例えば、印刷会社では今までであった仕事が無くなったりしているとの意見といただき、「マルチメディア演習」の授業で、ゲーム業界やカメラ関連、イラスト関係の仕事など幅広い進路の選択肢を増やせるような学習内容を織り込んでいる。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業等の要請を踏まえ、専攻分野に関わる職業において即戦力とし活躍でき人材育成を目指す。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

専攻分野に関わる企業等において豊富な実務経験を有し、業界の動向に知見を有する講師を選任し、実習・演習等の内容及び学修成果の達成度評価について打ち合わせを行い担当教員と連携しながら授業運営を行う。

(3) 具体的な連携の例

科目名	科目概要	連携企業等
DTP演習Ⅰ・Ⅱ	・誌面構成とデザインレイアウト ・出力のしくみとデータ入稿について ・冊子制作のワークフロー	エイチレフ合同会社

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

細則ならびに研修規程に基づき、教育効果の向上のため、企業等が開催する研修会等へ参加をし、知識、技術、技能などの修得に勤め、担当業務等の遂行に当たり質の高い授業運営ができるようにしている。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

全教職員を対象に、関連業界団体・企業が主催する実務に関する知識・技術・技能についての下記講習会等に参加し専攻分野毎に実務研修を行った。

- ・令和2年9月4日(1日) 文化庁、群馬県主催 令和2年度著作権セミナー

② 指導力の修得・向上のための研修等

全教職員を対象に、外部実務家講師による生徒に対する指導力等の修得・向上のための研修会

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

全教職員を対象に、関連業界団体・企業が主催する実務に関する知識・技術・技能についての研修会等に参加し専攻分野毎に実務研修を行う。

② 指導力の修得・向上のための研修等

全教職員を対象に、指導力の修得・向上を目指し各方面の有識者を講師として招聘し講習会を開催する。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため全職員集合しての対面講習会について昨年度は中止

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

教育効果の向上のため、企業等が開催する研修会等へ参加をし、知識、技術、技能などの修得に勤め、担当業務等の遂行に当たり質の高い授業運営ができるようにする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	理念・目的・育人人材像・学校の特色等
(2) 学校運営	事業計画・人事や賃金での処遇に関する制度等
(3) 教育活動	教育目標・育人人材像と業界ニーズ・資格取得体制等
(4) 学修成果	就職率の向上・卒業生在校生の社会的活躍と評価等
(5) 学生支援	就職指導に関する体制・課外活動に対する支援体制等
(6) 教育環境	施設設備の整備状況等
(7) 学生の受入れ募集	適正な学生募集活動・教育成果の適正な報告
(8) 財務	中長期における財務基盤の安定・財務に関する適正な会計監査
(9) 法令等の遵守	法令、設置基準等の遵守と運営・個人情報保護に関する対策
(10) 社会貢献・地域貢献	
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

「教員研修を充実し、教職員のモチベーション向上をさらに推進してほしい」との意見があり、教職員研修委員会において、教職員全員参加の集合研修や分野別に各教職員の実務研修の充実を図っている。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和3年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
神澤 紀江	東日本デザイン&コンピュータ専門学校(ビジネス2校)父母の会会長	令和3年4月1日 ~ 令和4年3月31日(1年)	PTA
鈴木 誠	一般社団法人 群馬県情報サービス産業協会理事	〃	企業委員
廣田 毅文	有限会社 富士メディアサービス 代表取締役	〃	企業委員
根岸 誠	フジコー株式会社 代表取締役	〃	企業委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

URL:<http://www.yamasaki.ac.jp/design-com/14.html>

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

社会に対する説明責任を果たし、社会全体からの信頼および企業等との連携や協力を得る。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	校長名・所在地・連絡先等・特徴・沿革、教育目標・経営方針・教育指導計画・諸活動に関する計画
(2)各学科等の教育	入学者選抜の方針・方法、定員数・入学者数・在学者数・カリキュラム等進級・卒業の要件等、取得を目指す資格、合格を目指す資格等、資格取得、検定試験合格等の実績、卒業者数、卒業後の進路
(3)教職員	教職員数、教職員の組織・専門性
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み状況、実習・実技への取り組み状況、就職支援への取り組み状況
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事への取り組み状況、課外活動(サークル活動、学生会活動)等の状況
(6)学生の生活支援	学生支援への取り組み状況
(7)学生納付金・修学支援	学生納付金の取扱、活用できる就学支援措置の内容
(8)学校の財務	事業報告書、貸借対照表、収支計算書、監査報告書など
(9)学校評価	自己評価・学校関係者評価の結果
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

URL:<http://www.yamasaki.ac.jp/design-com/14.html>

## 授業科目等の概要

(商業実務専門課程デザイン学科メディアクリエイターコース) 令和3年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			色彩論	色彩に関する理論や様々な知識を学習し、また実践的な活用も習得する ・色彩科学・色彩心理・色彩調和(配色) ・色彩と生活(ファッション・インテリア)	1前後	60	4	○			○			○	
○			ビジネスマナー	・ビジネスマナーの基本学習(社会人としてのマナーを身につける) ・話し方・敬語の使い方 ・指示の受け方と報告・連絡・相談 ・電話対応、来客対応	1前後	60	2		○		○			○	
○			Word	・Microsoft Word基本操作 文字入力・文書作成・表作成 ・ビジネス文書のライティング技術 ・電子メールのライティング技術	1前・2前	60	2		○		○			○	
○			Excel	・Microsoft Excel基本操作 データ入力・関数・表の作成 ・グラフの作成 ・データベース	1後・2後	60	2		○		○			○	
		○	コースミートニング	LHR的な位置づけの授業科目 ・就職活動への準備と対策 自己分析・業種・職種研究 筆記及び面接試験対策 ・各種検定試験対策	1前後・2前後	120	4		○		○		○		
		○	校外研修・特活	普段校内で得られない幅広い専門知識や経験を得ることと並びに自立心、協調性などの育成を目的とする ・校外研修(美術展鑑賞など)・スポーツ大会	1期間・2期間	60	2		○			○	○		
		○	学園祭	本校学園祭における催し企画立案から準備作業、学園祭当日の運営まで一連の作業を通して、自立心、協調性などの育成を目的とする	1期間・2期間	60	2		○		○		○		
○			デッサン	静物、人物などを写生することを通して、立体としての物の見え方や空間認識を学びながら基礎的な造形感覚を養成 ・デッサン概説・用具の使い方 ・構図のとり方・空間のとらえ方	1前後・2前後	240	8		○		○			○	
○			Photoshop 演習	・Photoshop操作の基礎 ・画像合成やレタッチなどの演習 ・保存形式などの適切な処理 ・検定への対策	1前	60	2		○		○		○		
合計					9科目	780単位時間(28単位)									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件は、1800時間以上かつ64単位以上を満たすものとする。 また、必修選択科目は指定されている科目数を必ず履修する必要がある。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

## 授業科目等の概要

(商業実務専門課程デザイン学科メディアクリエイターコース) 令和3年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			Illustrator 演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Illustrator操作の基礎</li> <li>・パスやグラデーションメッシュ等の演習</li> <li>・レイアウト作品の制作</li> <li>・検定への対策</li> </ul>	1 前	60	2	○			○	○			
○			マルチメディア演習	様々なデジタル表現に対応できる技術力、発想力を身に付ける。 ・CGイラスト ・写真撮影 ・3DCG基礎 ・映像編集 の4つの分野に特化した演習	1 前後 ・ 2 前後	240	8	○			○	○			
○			イラストレーション	イラストレーションの概要を意味を理解させ、それが求められる媒体を想定しながら、様々なイラストレーション技術を学習する ・挿絵 ・装丁画 ・コミックイラスト	1 前後 ・ 2 前後	120	4	○			○	○			
○			クリエイティブデザイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デザインの基礎技術や、表現技法を学ぶ</li> <li>・適切な表現方法の選択</li> <li>・コンペへの応募</li> <li>・ポートフォリオ作成などへの対応</li> </ul>	1 前後 ・ 2 前後	240	8	○			○	○			
○			レタリング	レタリング技能検定対策に基づいた知識・技術の習得 ・用具、用法 ・スペーシング ・拡大視写 ・和文基本書体表現 ・文字の基礎知識 ・POP広告制作基礎技術・応用技術	1 前	60	2	○			○	○			
○			DTP基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用語や印刷知識</li> <li>・サムネイル、ラフの制作</li> <li>・レイアウト作品演習</li> </ul>	1 後	60	2	○				○			
○			Web基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワイヤーフレーム、デザインカンプ制作</li> <li>・適切な画像のスライスや書き出し</li> <li>・HTML、CSSの理解</li> <li>・Dreamweaverの操作方法</li> </ul>	1 後	60	2	○				○			
○			DTP知識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広告物製作工程、専門用語の理解</li> <li>・写真、製本、印刷工程の理解</li> <li>・紙媒体とデジタルメディアについて</li> </ul>	1 後	30	2	○				○			
		○	一般常識	就職試験に向けた一般常識の学習 ・筆記試験対策 ・面接試験対策	1 後 ・ 2 前	60	2	○					○		
合計			9科目		930単位時間( 32単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件は、1800時間以上かつ64単位以上を満たすものとする。 また、必修選択科目は指定されている科目数を必ず履修する必要がある。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

## 授業科目等の概要

(商業実務専門課程デザイン学科メディアクリエイターコース) 令和3年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			DTP演習	・Indesignの操作方法 ・誌面構成の理解 ・製本基礎 ・立案から制作までのワークフロー ・CI計画の演習	2前後	120	4	○			○			○	○
○			Web演習	・Webサイト制作演習 ・Flashの操作方法 ・アニメーション制作	2前後	120	4	○			○		○		
○			ビジュアルデザイン・CI演習	・グラフィックデザインの概論 ・広告やWeb上で印象に残るビジュアル表現研究 ・CIの概要から制作、提案	2前後	120	4	○			○		○		
○			デザイン史	近代デザイン史を中心に19世紀後半から現在までのグラフィックデザイン、建築、アートの動向について概観していく ・アーツ&クラフツ運動からバウハウス ・モダニズムからポストモダン	2前	30	2	○			○		○		
		○	卒業制作	卒業・進級制作展に展示することを目標として、2年間の集大成としての作品制作	2後	60	2	○			○		○		
合計				5科目		450単位時間( 16単位)									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件は、1800時間以上かつ64単位以上を満たすものとする。 また、必修選択科目は指定されている科目数を必ず履修する必要がある。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																								
東日本デザイン&コンピュータ専門学校	昭和61年3月10日	清水 勇	〒379-2184 群馬県前橋市小屋原町1098-1 (電話) 027-267-1171																								
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																								
学校法人山崎学園	昭和42年3月31日	遠山 巍	〒379-2184 群馬県前橋市小屋原町1145-1 (電話) 027-267-7945																								
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																							
商業実務	商業実務専門課程	デザイン学科(雑貨・ファッションスタイリストコース)	平成17年文部科学大臣告示第177号	なし																							
学科の目的	本校は、学校教育法に基づき、教養教育と専門教育が調和した幅広い技術教育を行い、アート・デザイン分野及び雑貨・ファッションビジネス分野に関する知識技術を習得させ、もって産業界並びに社会公共に貢献できる人材を育成することを目的とする。																										
認定年月日	平成26年3月31日																										
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験																					
2年	昼間	1800時間	240時間	2160時間																							
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内数)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																						
240人	8人(122人の内数)	0人	3人	5人	19人																						
学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 学期末試験、実習の成果、出席状況等を総合的に勘案																							
長期休み	■学年始め: 4月1日～4月7日 ■夏季: 7月22日～8月25日 ■冬季: 12月24日～1月10日 ■学年末: 3月22日～3月31日		卒業・進級条件	校長が成績評価の基準に従い認定する。																							
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 担任及び学生指導委員による対応		課外活動	■課外活動の種類 学生会組織、部愛好会、インターンシップ等																							
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(平成30年度卒業生) (株)ネクスト、(株)アイジーエー、小野(株)、(株)ハートマーケット販売、接客サービス業等		主な学修成果(資格・検定等)※3	■課外活動の種類 学生会組織、部愛好会、インターンシップ等																							
	■就職指導内容 担任および就職部による面接練習等			■サークル活動: 有 ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和2年度卒業生に関する令和3年5月1日時点の情報)																							
■卒業生数 : 5 人		■就職希望者数 : 5 人		■就職者数 : 5 人		<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>リテラルマーケティング検定</td> <td>③</td> <td>15人</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>ファッションビジネス能力検定</td> <td>③</td> <td>5人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>色彩検定</td> <td>③</td> <td>87人</td> <td>55人</td> </tr> <tr> <td>POP広告クリエイター技能審査試験</td> <td>③</td> <td>62人</td> <td>58人</td> </tr> </tbody> </table>		資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	リテラルマーケティング検定	③	15人	8人	ファッションビジネス能力検定	③	5人	2人	色彩検定	③	87人	55人	POP広告クリエイター技能審査試験	③	62人	58人
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																								
リテラルマーケティング検定	③	15人	8人																								
ファッションビジネス能力検定	③	5人	2人																								
色彩検定	③	87人	55人																								
POP広告クリエイター技能審査試験	③	62人	58人																								
■就職率 : 100 %		■卒業者に占める就職者の割合 : 100 %		■その他 : 100 %		<p>※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するが記載する。</p> <p>①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの</p> <p>②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの</p> <p>③その他(民間検定等)</p> <p>■自由記述欄</p>																					
(平成 30 年度卒業生に関する 令和1年5月1日時点の情報)																											
中途退学の現状	■中途退学者 6 名		■中退率 5.6 %	令和2年4月1日時点において、在学者107名(令和2年4月1日入学者を含む) 令和3年3月31日時点において、在学者101名(令和3年3月31日卒業生を含む)																							
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度 : 有 特待制度		■専門実践教育訓練給付 : 無																								
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価 : 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																										
当該学科のホームページURL	<a href="http://www.yamasaki.ac.jp/design-com/">http://www.yamasaki.ac.jp/design-com/</a>																										

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前公表年月日は空欄とさせていただきます

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職した就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1) 教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

本校の目的に応じて、情報通信業界の要請を十分に生かしつつ職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成するため、教育課程の編成において企業等が委員として参画する「教育課程編成委員会」を設置し、より実践的な職業教育の質の確保に組織的に取り組むものとする。

(2) 教育課程編成委員会等の位置付け

細則で「教育課程編成委員会」を学内に設置することを定め、学校組織図に明記し、位置づけを明確にしている。教育課程編成委員会は、意見を教務部に提出し、教務部において教育課程を編成し、校長及び理事会の承認をへて最終決定している。

(3) 教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和3年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
小林 一英	東日本デザイン&コンピュータ専門学校 校長	令和 3年4月1日 ~ 令和 4年3月31日(1年)	
朝日 泰博	東日本デザイン&コンピュータ専門学校 教務部長(デザイン学科)	//	
石川 靖	群馬県印刷工業組合	//	①
齋藤 徹	エイチレフ合同会社	//	③
平田 耕一郎	東日本デザイン&コンピュータ専門学校 学科長(デザイン学科)	//	

\*委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ① 業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ② 学会や学術機関等の有識者
- ③ 実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4) 教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(開催日時)

年間開催数:2回(毎年5月、11月)

(5) 教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

「教育課程編成委員会」において各委員より出された意見を取り入れ、教務部において具体的な科目設定、授業内容の検討を行いカリキュラムを作成する。例えば、学生が企業を選ぶ目や入社後のモチベーションが変わるのではないかと意見をいただき、「一般常識」の授業の中で法律や税金などの仕組みを教えるようにした。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業等の要請を踏まえ、専攻分野に関わる職業において即戦力とし活躍でき人材育成を目指す。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

専攻分野に関わる企業等において豊富な実務経験を有し、業界の動向に知見を有する講師を選任し、実習・演習等の内容及び学修成果の達成度評価について打ち合わせを行い担当教員と連携しながら授業運営を行う。

(3) 具体的な連携の例

科目名	科目概要	連携企業等
トータルビューティー I・II	ネイルケア、アートの基礎知識やテクニックを、講義や実習を通じて学ぶとともに、コミュニケーション能力を身につける。	株式会社クレアディーバ

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的にやっていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

細則ならびに研修規程に基づき、教育効果の向上のため、企業等が開催する研修会等へ参加をし、知識、技術、技能などの修得に勤め、担当業務等の遂行に当たり質の高い授業運営ができるようにしている。



(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

全教職員を対象に、関連業界団体・企業が主催する実務に関する知識・技術・技能についての下記講習会等に参加し専攻分野毎に実務研修を行った。

- ・令和2年9月4日(1日) 文化庁、群馬県主催 令和2年度著作権セミナー

② 指導力の修得・向上のための研修等

全教職員を対象に、外部実務家講師による生徒に対する指導力等の修得・向上のための研修会

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

全教職員を対象に、関連業界団体・企業が主催する実務に関する知識・技術・技能についての研修会等に参加し専攻分野毎に実務研修を行う。

② 指導力の修得・向上のための研修等

全教職員を対象に、指導力の修得・向上を目指し各方面の有識者を講師として招聘し講習会を開催する。  
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため全職員集合しての対面講習会について昨年度は中止

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

教育効果の向上のため、企業等が開催する研修会等へ参加をし、知識、技術、技能などの修得に勤め、担当業務等の遂行に当たり質の高い授業運営ができるようにする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	理念・目的・育人人材像・学校の特色等
(2) 学校運営	事業計画・人事や賃金での処遇に関する制度等
(3) 教育活動	教育目標・育人人材像と業界ニーズ・資格取得体制等
(4) 学修成果	就職率の向上・卒業生在校生の社会的活躍と評価等
(5) 学生支援	就職指導に関する体制・課外活動に対する支援体制等
(6) 教育環境	施設設備の整備状況等
(7) 学生の受入れ募集	適正な学生募集活動・教育成果の適正な報告
(8) 財務	中長期における財務基盤の安定・財務に関する適正な会計監査
(9) 法令等の遵守	法令、設置基準等の遵守と運営・個人情報保護に関する対策
(10) 社会貢献・地域貢献	
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

「教員研修を充実し、教職員のモチベーション向上をさらに推進してほしい」との意見があり、教職員研修委員会において、教職員全員参加の集合研修や分野別に各教職員の実務研修の充実を図っている。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和3年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
神澤 紀江	東日本デザイン&コンピュータ専門学校(ビジネス2校) 父母の会会長	令和3年4月1日 ~ 令和4年3月31日(1年)	PTA
鈴木 誠	一般社団法人 群馬県情報サービス産業協会理事	〃	企業委員
廣田 毅文	有限会社 富士メディアサービス 代表取締役	〃	企業委員
根岸 誠	フジコー株式会社 代表取締役	〃	企業委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。  
(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

URL:<http://www.yamasaki.ac.jp/design-com/14.html>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

社会に対する説明責任を果たし、社会全体からの信頼および企業等との連携や協力を得る。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	校長名・所在地・連絡先等・特徴・沿革、教育目標・経営方針・教育指導計画・諸活動に関する計画
(2) 各学科等の教育	入学者選抜の方針・方法、定員数・入学者数・在学者数・カリキュラム等進級・卒業の要件等、取得を目指す資格、合格を目指す資格等、資格取得、検定試験合格等の実績、卒業者数、卒業後の進路
(3) 教職員	教職員数、教職員の組織・専門性
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み状況、実習・実技への取り組み状況、就職支援への取り組み状況
(5) 様々な教育活動・教育環境	学校行事への取り組み状況、課外活動(サークル活動、学生会活動)等の状況
(6) 学生の生活支援	学生支援への取り組み状況
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金の取扱、活用できる就学支援措置の内容
(8) 学校の財務	事業報告書、貸借対照表、収支計算書、監査報告書など
(9) 学校評価	自己評価・学校関係者評価の結果
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

URL:<http://www.yamasaki.ac.jp/design-com/14.html>

## 授業科目等の概要

(商業実務専門課程デザイン学科雑貨・ファッションスタイリストコース) 令和3年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			色彩論	色彩に関する理論や様々な知識を学習し、また実践的な活用も習得する ・色彩科学 ・色彩心理 ・色彩調和 (配色) ・色彩と生活(ファッション・インテリア)	1 前 後	60	4	○			○		○		
○			ビジネスマナー	・ビジネスマナーの基本学習 (社会人としてのマナーを身につける) ・話し方・敬語の使い方 ・指示の受け方と報告・連絡・相談 ・電話対応、来客対応	1 前 後	60	2		○		○		○		
○			Word	・Microsoft Word基本操作 文字入力・文書作成・表作成 ・ビジネス文書のライティング技術 ・電子メールのライティング技術	1 前 ・ 2 前	60	2		○		○		○		
○			Excel	・Microsoft Excel基本操作 データ入力・関数・表の作成 ・グラフの作成 ・データベース	1 後 ・ 2 後	60	2		○		○		○		
		○	コースミートニング	LHR的な位置づけの授業科目 ・就職活動への準備と対策 自己分析・業種・職種研究 筆記及び面接試験対策 ・各種検定試験対策	1 前 後 ・ 2 前 後	120	4		○		○		○		
		○	校外研修・特活	普段校内で得られない幅広い専門知識や経験を得ることと並びに自立心、協調性などの育成を目的とする ・校外研修 (美術展鑑賞など) ・スポーツ大会	1 期 間 ・ 2 期 間	60	2		○		○	○			
		○	学園祭	本校学園祭における催し企画立案から準備作業、学園祭当日の運営まで一連の作業を通して、自立心、協調性などの育成を目的とする	1 期 間 ・ 2 期 間	60	2		○		○	○			
○	○		デザイン演習	・デザインの基本知識・技法について ・様々な表現技法について ・作品制作	1 前 ・ 2 前	180	6		○		○		○		
○			POP広告デザイン	・POP広告の基本知識・技法について ・基本書体について ・レイアウトについて ・POP検定対策	1 前	30	1		○		○		○		
合計					9科目	690単位時間 ( 25単位)									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件は、1800時間以上かつ68単位以上を満たすものとする。 また、必修選択科目は指定されている科目数を必ず履修する必要がある。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

## 授業科目等の概要

(商業実務専門課程デザイン学科雑貨・ファッションスタイリストコース) 令和3年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			販売士	・販売経営管理について ・マーチャндаイジングについて ・小売業の種類について ・マーケティングについて ・販売士検定対策	1 前後 ・ 2 前	150	5	○			○			○	
○			ラッピング	・ラッピングの基本・応用技術（リボンのし ばり方、包み方）について ・作品制作 ・ラッピングクリエイター資格対策	1 前後 ・ 2 前後	120	4	○			○			○	
○	○		トータル ビューティー	・精神保健論 ・美容カウンセリング ・ネイルの基礎知識・技法について ・アロマセラピー検定、ネイル検定対策	1 前後 ・ 2 前後	240	8	○			○			○	○
○	○		雑貨デザイン	・雑貨の基礎知識について ・商品企画について ・制作技法・道具の扱いについて ・作品制作	1 前後 ・ 2 前後	240	8	○			○			○	
○		○	ファッション コーディネート	・コーディネート技術と販売について ・オケージョンシナリオ作成 ・8大感性マップ作成 ・フィーリング分類マップ作成	1 前後 ・ 2 前後	120	4	○			○			○	
○			ファッション マーケティング	・マーケティングの基本知識について ・消費者ニーズについて ・市場調査について ・ファッション販売能力検定対策	1 前後	60	2	○						○	
○			ファッション アドバイザー 論	・ファッション商品知識について ・ファッション販売業務・技術について ・店舗演出・VP展開について ・企業戦略について	1 前後	60	4	○						○	
○			メイク・ヘア メイク	・メイクアップの目的と役割 ・コスメ製品の種類と特徴 ・スキンケア・メイク技法について ・ヘアアレンジ・ヘアメイク	1 前後	120	4	○						○	
		○	一般常識	・就職試験対策 (SPI、一般常識、業界、時事、GD)	1 後 ・ 2 前	60	2	○			○			○	
合計					9科目	1170単位時間( 41単位)									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件は、1800時間以上かつ68単位以上を満たすものとする。 また、必修選択科目は指定されている科目数を必ず履修する必要がある。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

## 授業科目等の概要

(商業実務専門課程デザイン学科雑貨・ファッションスタイリストコース) 令和3年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			裁縫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・服造形の基本知識について</li> <li>・裁縫道具、ミシンの扱い方について</li> <li>・裁縫基礎技法について</li> <li>・作品制作</li> </ul>	2 前後	120	4	○			○			○	
○			ショッププランニング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・店舗出店プランニング</li> <li>・店舗什器、レイアウトについて</li> <li>・平面図・立体図の基礎知識について</li> <li>・商品企画・ディスプレイについて</li> <li>・作品制作</li> </ul>	2 前後	180	6	○			○			○	
	○		ファッションビジネス概論	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファッションの定義と特性</li> <li>・繊維ファッション業界について</li> <li>・ファッション消費と消費者行動</li> <li>・アパレルの営業戦略</li> <li>・ファッションビジネス能力検定対策</li> </ul>	2 前後	60	4	○			○			○	
	○		ショップマスター論	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ショップマスターの資格条件</li> <li>・品揃え計画、販売計画</li> <li>・入りやすい売り場づくりについて</li> <li>・陳列技術について</li> </ul>	2 前後	60	4	○			○			○	
○			卒業制作	卒業・進級制作展に展示することを目標として、2年間の集大成としての作品制作	2 後	60	2	○			○			○	
		○	英会話	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初歩的的日常英会話力の習得</li> <li>・接客・販売等ビジネスシーンでの英会話力の習得</li> </ul>	2 前後	60	2	○			○			○	
合計				6科目		540単位時間( 22単位)									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件は、1800時間以上かつ68単位以上を満たすものとする。 また、必修選択科目は指定されている科目数を必ず履修する必要がある。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																		
東日本デザイン&コンピュータ専門学校	昭和61年3月10日	小林 一英	〒379-2184 群馬県前橋市小屋原町1098-1 (電話) 027-267-1171																		
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																		
学校法人山崎学園	昭和42年3月31日	遠山 嶺	〒379-2184 群馬県前橋市小屋原町1145-1 (電話) 027-267-7945																		
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																	
商業実務	商業実務専門課程	デザイン学科(アートクラフトコース)	平成17年文部科学大臣告示第177号	なし																	
学科の目的	本校は、学校教育法に基づき、教養教育と専門教育が調和した幅広い技術教育を行い、アート・デザイン分野及びCG・ゲーム分野に関する知識技術を習得させ、もって産業界並びに社会公共に貢献できる人材を育成することを目的とする。																				
認定年月日	平成26年3月31日																				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技														
2	昼間	1800時間		2250時間																	
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																
240人	5人(122人の内数)	0人	7人	12人	19人																
学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～3月31日		成績評価		■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 学期末試験、実習の成果、出席状況等を総合的に勘案																
長期休み	■学年始め: 4月1日～4月7日 ■夏季: 7月22日～8月25日 ■冬季: 12月24日～1月10日 ■学年末: 3月22日～3月31日		卒業・進級条件		校長が成績評価の基準に従い認定する。																
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 担任及び学生指導委員による対応		課外活動		■課外活動の種類 学生会組織、部愛好会、インターンシップ等  ■サークル活動: 有																
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(令和2年度卒業生)		主な学修成果(資格・検定等)※3		<table border="1"> <tr> <td>資格・検定名</td> <td>種</td> <td>受験者数</td> <td>合格者数</td> </tr> <tr> <td>Illustratorクリエイター能力認定試験</td> <td>③</td> <td rowspan="4">新設コースのため、実績なし</td> <td rowspan="4"></td> </tr> <tr> <td>Photoshopクリエイター能力認定試験</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>色彩検定</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>POP広告クリエイター技能審査試験</td> <td>③</td> </tr> </table>			資格・検定名	種	受験者数	合格者数	Illustratorクリエイター能力認定試験	③	新設コースのため、実績なし		Photoshopクリエイター能力認定試験	③	色彩検定	③	POP広告クリエイター技能審査試験	③
	資格・検定名	種						受験者数	合格者数												
Illustratorクリエイター能力認定試験	③	新設コースのため、実績なし																			
Photoshopクリエイター能力認定試験	③																				
色彩検定	③																				
POP広告クリエイター技能審査試験	③																				
■就職指導内容 担任および就職部による面接練習等  ■卒業者数 : — 人 ■就職希望者数 : — 人 ■就職者数 : — 人 ■就職率 : — % ■卒業者に占める就職者の割合 : — % ■その他 : — %  (令和2年度卒業生に関する令和3年5月1日時点の情報)		■国家資格・検定/その他(民間検定等) (令和2年度卒業生に関する令和3年5月1日時点の情報)  ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)  ■自由記述欄																			
中途退学の現状	■中途退学者 一名		■中途退学率 5.6%		■中途退学の主な理由  ■中退防止・中退者支援のための取組 担任及び退学防止委員会による対応																
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度 : 有 特待制度 ■専門実践教育訓練給付 : 無																				
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価 : 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																				
当該学科のホームページURL	<a href="http://www.yamasaki.ac.jp/design-com/">http://www.yamasaki.ac.jp/design-com/</a>																				

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)  
最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知(25文科生第596号))」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。  
(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について  
①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。  
②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。  
③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年度に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について  
①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。  
②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。  
(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1) 教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

本校の目的に応じて、情報通信業界の要請を十分に生かしつつ職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成するため、教育課程の編成において企業等が委員として参画する「教育課程編成委員会」を設置し、より実践的な職業教育の質の確保に組織的に取り組むものとする。

(2) 教育課程編成委員会等の位置付け

細則で「教育課程編成委員会」を学内に設置することを定め、学校組織図に明記し、位置づけを明確にしている。教育課程編成委員会は、意見を教務部に提出し、教務部において教育課程を編成し、校長及び理事会の承認をへて最終決定している。

(3) 教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和3年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
小林 一英	東日本デザイン&コンピュータ専門学校 校長	令和3年4月1日 ~ 令和4年3月31日(1年)	
朝日 泰博	東日本デザイン&コンピュータ専門学校 教務部長(デザイン学科)	//	
石川 靖	群馬県印刷工業組合	//	①
齋藤 徹	エイチレフ合同会社	//	③
平田 耕一郎	東日本デザイン&コンピュータ専門学校 学科長(デザイン学科)	//	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ① 業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ② 学会や学術機関等の有識者
- ③ 実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4) 教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(開催日時)

年間開催数:2回(毎年5月、11月)

(5) 教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

「教育課程編成委員会」において各委員より出された意見を取り入れ、教務部において具体的な科目設定、授業内容の検討を行いカリキュラムを作成する。例えば、自分の作品に対する著作権について、PixivやTwitterなどでのリスク管理法や、著作権の問題を回避ための画像加工技術も学ばせるようにした。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業等の要請を踏まえ、専攻分野に関わる職業において即戦力とし活躍でき人材育成を目指す。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

専攻分野に関わる企業等において豊富な実務経験を有し、業界の動向に知見を有する講師を選任し、実習・演習等の内容及び学修成果の達成度評価について打ち合わせを行い担当教員と連携しながら授業運営を行う。

(3) 具体的な連携の例

科目名	科目概要	連携企業等
造形基礎演習Ⅱ	平面作品制作を中心にして様々な制作実習を通して、造形的基礎力を養成する	都プランニング

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

細則ならびに研修規程に基づき、教育効果の向上のため、企業等が開催する研修会等へ参加をし、知識、技術、技能などの修得に勤め、担当業務等の遂行に当たり質の高い授業運営ができるようにしている。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

全教職員を対象に、関連業界団体・企業が主催する実務に関する知識・技術・技能についての下記講習会等に参加し専攻分野毎に実務研修を行った。

- ・令和2年6月26日(1日) ワコムクリエイターズカレッジクラブ主催 マンガイラスト業界セミナー
- ・令和2年7月27日(1日) ワコムクリエイターズカレッジクラブ主催 スタジオコロリドウェビナー
- ・令和2年9月4日(1日) 文化庁、群馬県主催 令和2年度著作権セミナー

② 指導力の修得・向上のための研修等

全教職員を対象に、外部実務家講師による生徒に対する指導力等の修得・向上のための研修会

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

全教職員を対象に、関連業界団体・企業が主催する実務に関する知識・技術・技能についての研修会等に参加し専攻分野毎に実務研修を行う。

② 指導力の修得・向上のための研修等

全教職員を対象に、指導力の修得・向上を目指し各方面の有識者を講師として招聘し講習会を開催する。  
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため全職員集合しての対面講習会について昨年度は中止

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

教育効果の向上のため、企業等が開催する研修会等へ参加をし、知識、技術、技能などの修得に勤め、担当業務等の遂行に当たり質の高い授業運営ができるようにする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	理念・目的・育人人材像・学校の特色等
(2) 学校運営	事業計画・人事や賃金での処遇に関する制度等
(3) 教育活動	教育目標・育人人材像と業界ニーズ・資格取得体制等
(4) 学修成果	就職率の向上・卒業生在校生の社会的活躍と評価等
(5) 学生支援	就職指導に関する体制・課外活動に対する支援体制等
(6) 教育環境	施設設備の整備状況等
(7) 学生の受入れ募集	適正な学生募集活動・教育成果の適正な報告
(8) 財務	中長期における財務基盤の安定・財務に関する適正な会計監査
(9) 法令等の遵守	法令、設置基準等の遵守と運営・個人情報保護に関する対策
(10) 社会貢献・地域貢献	
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

「教員研修を充実し、教職員のモチベーション向上をさらに推進してほしい」との意見があり、教職員研修委員会において、教職員全員参加の集合研修や分野別に各教職員の実務研修の充実を図っている。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和3年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
神澤 紀江	東日本デザイン&コンピュータ専門学校(ビジネス2校) 父母の会会長	令和3年4月1日 ~ 令和4年3月31日(1年)	PTA
鈴木 誠	一般社団法人 群馬県情報サービス産業協会理事	〃	企業委員
廣田 毅文	有限会社 富士メディアサービス 代表取締役	〃	企業委員
根岸 誠	フジコー株式会社 代表取締役	〃	企業委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。  
(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

URL: <http://www.yamasaki.ac.jp/design-com/14.html>



5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

社会に対する説明責任を果たし、社会全体からの信頼および企業等との連携や協力を得る。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	校長名・所在地・連絡先等・特徴・沿革、教育目標・経営方針・教育指導計画・諸活動に関する計画
(2) 各学科等の教育	入学者選抜の方針・方法、定員数・入学者数・在学者数・カリキュラム等進級・卒業の要件等、取得を目指す資格、合格を目指す資格等、資格取得、検定試験合格等の実績、卒業者数、卒業後の進路
(3) 教職員	教職員数、教職員の組織・専門性
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み状況、実習・実技への取り組み状況、就職支援への取り組み状況
(5) 様々な教育活動・教育環境	学校行事への取り組み状況、課外活動(サークル活動、学生会活動)等の状況
(6) 学生の生活支援	学生支援への取り組み状況
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金の取扱、活用できる就学支援措置の内容
(8) 学校の財務	事業報告書、貸借対照表、収支計算書、監査報告書など
(9) 学校評価	自己評価・学校関係者評価の結果
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

URL:<http://www.yamasaki.ac.jp/design-com/14.html>

## 授業科目等の概要

(商業実務専門課程デザイン学科アートクラフトコース) 令和3年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			色彩論	色彩に関する理論や様々な知識を学習し、また実践的な活用も習得する ・色彩科学・色彩心理・色彩調和(配色) ・色彩と生活(ファッション・インテリア)	1前後	60	2	○			○			○	
○			ビジネスマナー	・ビジネスマナーの基本学習(社会人としてのマナーを身につける) ・話し方・敬語の使い方 ・指示の受け方と報告・連絡・相談 ・電話対応、来客対応	1前後	60	2	○			○			○	
○			Word	・Microsoft Word基本操作 文字入力・文書作成・表作成 ・ビジネス文書のライティング技術 ・電子メールのライティング技術	1前・2前	60	2	○			○			○	
○			Excel	・Microsoft Excel基本操作 データ入力・関数・表の作成 ・グラフの作成 ・データベース	1後・2後	60	2	○			○			○	
		○	コースミーティング	LHR的な位置づけの授業科目 ・就職活動への準備と対策 自己分析・業種・職種研究 筆記及び面接試験対策 ・各種検定試験対策	1前後・2前後	120	4	○			○		○		
		○	校外研修・特活	普段校内で得られない幅広い専門知識や経験を得ることと並びに自立心、協調性などの育成を目的とする ・校外研修(美術展鑑賞など)・スポーツ大会	1期間・2期間	60	2	○			○	○			
		○	学園祭	本校学園祭における催し企画立案から準備作業、学園祭当日の運営まで一連の作業を通して、自立心、協調性などの育成を目的とする	1期間・2期間	60	2	○			○	○			
○			デッサン	静物、人物などを写生することを通して、立体としての物の見え方や空間認識を学びながら基礎的な造形感覚を養成 ・デッサン概説・用具の使い方 ・構図のとおり方・空間のとらえ方	1前後・2前後	240	8	○			○			○	
○			造形基礎演習	平面作品制作を中心に様々な制作実習を通して、造形的基礎力を養成 ・画材とその用法の学習・色彩構成(配色と構図) ・絵画的表現方法の研究	1前後	120	4	○			○		○	○	○
合計					9科目		840単位時間(28単位)								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件は、1800時間以上かつ60単位以上を満たすものとする。 また、必修選択科目は指定されている科目数を必ず履修する必要がある。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(商業実務専門課程デザイン学科アートクラフトコース) 令和3年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			Illustrator 演習	Illustratorの基本操作からパス描画やグラフィックデザインの基礎技術を学習する ・ ツールの使い方、効果 ・ パスを使ったオブジェクト描画 ・ 印刷物のレイアウト技術	1 前	60	2	○			○				
○			Photoshop 演習	・ Photoshop操作の基礎 ・ 画像合成やレタッチなどの演習 ・ 保存形式などの適切な処理 ・ 検定への対策	1 後	60	2	○			○				
○			絵画	・ 様々な用材を使用して、その特性を生かした表現を学ぶ。 ・ 基本的な絵画表現の習得し、自己表現の中で活用できるようにする。	1 前後	240	8	○			○				
○			クラフト	様々な素材の性質や加工法など、モノ作りの基礎を学び、オリジナル作品の制作へと発展させる。	1 前後	240	8	○			○				
○			造形演習	・ 平面・立体作品の制作を通して、制作で必要とされる造形基礎能力を養う。 色彩構成/レイアウト/画材研究	2 前後	240	8	○						○	
○			コンペ対策	絵画・イラスト・デザインに関連するコンペティションに応募、入賞を目指し作品を制作 ・ 各種コンペの傾向と対策	2 前後	240	2	○						○	
○			イラストレーション	イラストレーションの概要と意味を理解させ、それが求められる媒体を想定しながら、様々なイラストレーション技術を学習する ・ 挿絵 ・ 装丁画 ・ コミックイラスト	2 前後	120	4	○							○
		○	CG実習	・ Illustrator、Photoshop操作の応用 ・ 広告デザイン等のグラフィックデザイン ・ デジタルイラストレーション	2 前後	120	4	○							○
		○	キャリアデザイン	主に就職活動を中心とした進路指導 ・ 自己PR、志望動機作成 ・ 面接指導 ・ 個人カウンセリング	1 後・ 2 後	120	4	○			○			○	
合計					9科目		1380単位時間( 46単位)								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件は、1800時間以上かつ60単位以上を満たすものとする。 また、必修選択科目は指定されている科目数を必ず履修する必要がある。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

## 授業科目等の概要

(商業実務専門課程デザイン学科アートクラフトコース) 令和3年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
		○	デザイン史	近代デザイン史を中心に19世紀後半から現在までのデザイン、建築、アートの動向について概観していく ・アーツ&クラフツ運動からバウハウス ・モダニズムからポストモダン	2 前	30	1	○			○	○			
合計					1科目										30単位時間( 1単位)

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件は、1800時間以上かつ60単位以上を満たすものとする。 また、必修選択科目は指定されている科目数を必ず履修する必要がある。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																
東日本デザイン&コンピュータ専門学校	昭和61年3月10日	小林 一英	〒379-2184 群馬県前橋市小屋原町1098-1 (電話) 027-267-1171																
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																
学校法人山崎学園	昭和42年3月31日	遠山 嶺	〒379-2184 群馬県前橋市小屋原町1145-1 (電話) 027-267-7945																
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士															
商業実務	商業実務専門課程	デザイン学科(コミックイラストコース)	平成17年文部科学大臣告示第177号	なし															
学科の目的	本校は、学校教育法に基づき、教養教育と専門教育が調和した幅広い技術教育を行い、アート・デザイン分野及びCG・ゲーム分野に関する知識技術を習得させ、もって産業界並びに社会公共に貢献できる人材を育成することを目的とする。																		
認定年月日	平成26年3月31日																		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習														
2年	昼間	1800時間		2430時間															
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数														
240人	42人(122人の内数)	0人	7人	12人	19人														
学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 学期末試験、実習の成果、出席状況等を総合的に勘案															
長期休み	■学年始め: 4月1日～4月7日 ■夏季: 7月22日～8月25日 ■冬季: 12月24日～1月10日 ■学年末: 3月22日～3月31日		卒業・進級条件	校長が成績評価の基準に従い認定する。															
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 担任及び学生指導委員による対応		課外活動	■課外活動の種類 学生会組織、部愛好会、インターンシップ等  ■サークル活動: 有															
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(令和2年度卒業生)  ■就職指導内容 担任および就職部による面接練習等  ■卒業生数 : — 人 ■就職希望者数 : — 人 ■就職者数 : — 人 ■就職率 : — % ■卒業生に占める就職者の割合 : — % ■その他 : — %  (令和2年度卒業生に関する令和3年5月1日時点の情報)		主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他(民間検定等) (令和2年度卒業生に関する令和3年5月1日時点の情報)  <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Illustratorクリエイター能力認定試験</td> <td>③</td> <td rowspan="4">新設コースのため、実績なし</td> <td rowspan="4"></td> </tr> <tr> <td>Photoshopクリエイター能力認定試験</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>色彩検定</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>POP広告クリエイター技能審査試験</td> <td>③</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)  ■自由記述欄		資格・検定名	種	受験者数	合格者数	Illustratorクリエイター能力認定試験	③	新設コースのため、実績なし		Photoshopクリエイター能力認定試験	③	色彩検定	③	POP広告クリエイター技能審査試験	③
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																
Illustratorクリエイター能力認定試験	③	新設コースのため、実績なし																	
Photoshopクリエイター能力認定試験	③																		
色彩検定	③																		
POP広告クリエイター技能審査試験	③																		
中途退学の現状	■中途退学者 一名 ■中途退学の主な理由  ■中退防止・中退者支援のための取組 担任及び退学防止委員会による対応		■中退率	5.6%															
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度 : 有 特待制度 ■専門実践教育訓練給付 : 無																		
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価 : 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																		
当該学科のホームページURL	<a href="http://www.yamasaki.ac.jp/design-com/">http://www.yamasaki.ac.jp/design-com/</a>																		

(留意事項)

- 公表年月日(※1)  
最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前公表年月日は空欄としてください
- 就職等の状況(※2)  
「就職率」及び「卒業生に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知(25文科生第596号))」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。  
 (1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について  
 ①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。  
 ②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。  
 ③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。  
 ※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年度に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。  
 (2)「学校基本調査」における「卒業生に占める就職者の割合」の定義について  
 ①「卒業生に占める就職者の割合」とは、全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいいます。  
 ②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。  
 (3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進
- 主な学修成果(※3)  
認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1) 教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

本校の目的に応じて、情報通信業界の要請を十分に生かしつつ職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成するため、教育課程の編成において企業等が委員として参画する「教育課程編成委員会」を設置し、より実践的な職業教育の質の確保に組織的に取り組むものとする。

(2) 教育課程編成委員会等の位置付け

細則で「教育課程編成委員会」を学内に設置することを定め、学校組織図に明記し、位置づけを明確にしている。教育課程編成委員会は、意見を教務部に提出し、教務部において教育課程を編成し、校長及び理事会の承認をへて最終決定している。

(3) 教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和3年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
小林 一英	東日本デザイン&コンピュータ専門学校 校長	令和 3年4月1日 ~ 令和 4年3月31日(1年)	
朝日 泰博	東日本デザイン&コンピュータ専門学校 教務部長(デザイン学科)	//	
石川 靖	群馬県印刷工業組合	//	①
齋藤 徹	エイチレフ合同会社	//	③
平田 耕一郎	東日本デザイン&コンピュータ専門学校 学科長(デザイン学科)	//	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ① 業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ② 学会や学術機関等の有識者
- ③ 実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4) 教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(開催日時)

年間開催数:2回(毎年5月、11月)

(5) 教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

「教育課程編成委員会」において各委員より出された意見を取り入れ、教務部において具体的な科目設定、授業内容の検討を行いカリキュラムを作成する。例えば、自分の作品に対する著作権について、PixivやTwitterなどでのリスク管理法や、著作権の問題を回避ための画像加工技術も学ばせるようにした。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業等の要請を踏まえ、専攻分野に関わる職業において即戦力とし活躍でき人材育成を目指す。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

専攻分野に関わる企業等において豊富な実務経験を有し、業界の動向に知見を有する講師を選任し、実習・演習等の内容及び学修成果の達成度評価について打ち合わせを行い担当教員と連携しながら授業運営を行う。

(3) 具体的な連携の例

科目名	科目概要	連携企業等
キャラクターデザイン	人体構造の基礎を学び、衣装デザイン、テーマからのキャラクター作りに取り組む。	都プランニング

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

細則ならびに研修規程に基づき、教育効果の向上のため、企業等が開催する研修会等へ参加をし、知識、技術、技能などの修得に勤め、担当業務等の遂行に当たり質の高い授業運営ができるようにしている。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

全教職員を対象に、関連業界団体・企業が主催する実務に関する知識・技術・技能についての下記講習会等に参加し専攻分野毎に実務研修を行った。

- ・令和2年6月26日(1日) ワコムクリエイターズカレッジクラブ主催 マンガイラスト業界セミナー
- ・令和2年7月27日(1日) ワコムクリエイターズカレッジクラブ主催 スタジオコロリドウェビナー
- ・令和2年9月4日(1日) 文化庁、群馬県主催 令和2年度著作権セミナー

② 指導力の修得・向上のための研修等

全教職員を対象に、外部実務家講師による生徒に対する指導力等の修得・向上のための研修会

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

全教職員を対象に、関連業界団体・企業が主催する実務に関する知識・技術・技能についての研修会等に参加し専攻分野毎に実務研修を行う。

② 指導力の修得・向上のための研修等

全教職員を対象に、指導力の修得・向上を目指し各方面の有識者を講師として招聘し講習会を開催する。  
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため全職員集合しての対面講習会について昨年度は中止

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

教育効果の向上のため、企業等が開催する研修会等へ参加をし、知識、技術、技能などの修得に勤め、担当業務等の遂行に当たり質の高い授業運営ができるようにする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	理念・目的・育成人材像・学校の特色等
(2) 学校運営	事業計画・人事や賃金での処遇に関する制度等
(3) 教育活動	教育目標・育成人材像と業界ニーズ・資格取得体制等
(4) 学修成果	就職率の向上・卒業生在校生の社会的活躍と評価等
(5) 学生支援	就職指導に関する体制・課外活動に対する支援体制等
(6) 教育環境	施設設備の整備状況等
(7) 学生の受入れ募集	適正な学生募集活動・教育成果の適正な報告
(8) 財務	中長期における財務基盤の安定・財務に関する適正な会計監査
(9) 法令等の遵守	法令、設置基準等の遵守と運営・個人情報保護に関する対策
(10) 社会貢献・地域貢献	
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

「教員研修を充実し、教職員のモチベーション向上をさらに推進してほしい」との意見があり、教職員研修委員会において、教職員全員参加の集合研修や分野別に各教職員の実務研修の充実を図っている。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和3年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
神澤 紀江	東日本デザイン&コンピュータ専門学校(ビジネス2校) 父母の会会長	令和3年4月1日 ~ 令和4年3月31日(1年)	PTA
鈴木 誠	一般社団法人 群馬県情報サービス産業協会理事	〃	企業委員
廣田 毅文	有限会社 富士メディアサービス 代表取締役	〃	企業委員
根岸 誠	フジコー株式会社 代表取締役	〃	企業委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。  
(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

URL: <http://www.yamasaki.ac.jp/design-com/14.html>

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

社会に対する説明責任を果たし、社会全体からの信頼および企業等との連携や協力を得る。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	校長名・所在地・連絡先等・特徴・沿革、教育目標・経営方針・教育指導計画・諸活動に関する計画
(2)各学科等の教育	入学者選抜の方針・方法、定員数・入学者数・在学者数・カリキュラム等進級・卒業の要件等、取得を目指す資格、合格を目指す資格等、資格取得、検定試験合格等の実績、卒業者数、卒業後の進路
(3)教職員	教職員数、教職員の組織・専門性
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み状況、実習・実技への取り組み状況、就職支援への取り組み状況
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事への取り組み状況、課外活動(サークル活動、学生会活動)等の状況
(6)学生の生活支援	学生支援への取り組み状況
(7)学生納付金・修学支援	学生納付金の取扱、活用できる就学支援措置の内容
(8)学校の財務	事業報告書、貸借対照表、収支計算書、監査報告書など
(9)学校評価	自己評価・学校関係者評価の結果
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

URL:<http://www.yamasaki.ac.jp/design-com/14.html>



授業科目等の概要

(商業実務専門課程デザイン学科コミックイラストコース) 令和3年度																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任		
○			色彩論	色彩に関する理論や様々な知識を学習し、また実践的な活用も習得する ・色彩科学・色彩心理・色彩調和(配色) ・色彩と生活(ファッション・インテリア)	1前後	60	2	○			○					
○			ビジネスマナー	・ビジネスマナーの基本学習(社会人としてのマナーを身につける) ・話し方・敬語の使い方 ・指示の受け方と報告・連絡・相談 ・電話対応、来客対応	1前後	60	2	○			○					
○			Word	・Microsoft Word基本操作 文字入力・文書作成・表作成 ・ビジネス文書のライティング技術 ・電子メールのライティング技術	1前・2前	60	2	○			○					
○			Excel	・Microsoft Excel基本操作 データ入力・関数・表の作成 ・グラフの作成 ・データベース	1後・2後	60	2	○			○					
		○	コースミートニング	LHR的な位置づけの授業科目 ・就職活動への準備と対策 自己分析・業種・職種研究 筆記及び面接試験対策 ・各種検定試験対策	1前後・2前後	120	4	○			○					
		○	校外研修・特活	普段校内で得られない幅広い専門知識や経験を得ることと並びに自立心、協調性などの育成を目的とする ・校外研修(美術展鑑賞など)・スポーツ大会	1期間・2期間	60	2	○				○	○			
		○	学園祭	本校学園祭における催し企画立案から準備作業、学園祭当日の運営まで一連の作業を通して、自立心、協調性などの育成を目的とする	1期間・2期間	60	2	○			○			○		
○			デッサン	静物、人物などを写生することを通して、立体としての物の見え方や空間認識を学びながら基礎的な造形感覚を養成 ・デッサン概説・用具の使い方 ・構図のとり方・空間のとらえ方	1前後・2前後	240	8	○			○					○
○			造形基礎演習	スケッチなどの基礎制作実習を通して、造形的基礎力を養成 ・パースを用いた空間表現・構図 ・パース・3Dソフトを利用した空間表現	1前	60	2	○			○				○	
合計					9科目	780単位時間(26単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件は、1800時間以上かつ60単位以上を満たすものとする。 また、必修選択科目は指定されている科目数を必ず履修する必要がある。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

## 授業科目等の概要

(商業実務専門課程デザイン学科コミックイラストコース) 令和3年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			デジタルイラスト	・ペイント系CGソフトを活用した作品制作。 ・ペンタブレットを活用したペイント技術 ・キャラクターイラスト ・背景、エフェクト表現	1 前	60	2	○			○		○		
○			CG演習	Illustratorの基本操作からパス描画やグラフィックデザインの基礎技術を学習する ・ツールの使い方、効果 ・パスを使ったオブジェクト描画 ・印刷物のレイアウト技術	1 前	60	2	○			○		○		
○			キャラクターデザイン	人体構造の基礎を学び、衣装デザイン、テーマからのキャラクター作りに取り組む。 ・衣装デザイン ・オリジナルキャラクター制作 ・三面図の制作	1 前	60	2	○			○		○	○	○
○			コンペ対策	様々なイラストコンペに応募するための、準備調査を学び、実際に応募する。進級制作など学校行事に向けた企画制作。	1 前後 ・ 2 前	300	10	○			○		○		
○			CLIPSTUDIO演習	CLIPSTUDIO PAINTの基本操作を学ぶ。 ・塗りの基本 ・マンガツール ・アニメーションツール など	1 前	60	2	○			○		○		
○			Live2D	Live2D Cubism の基本操作を学ぶ。 ・パーツ素材作り ・モデリング ・アニメーション ・SDK書き出しなど	1 後	60	2	○			○		○		
○			webデザイン	webデザインの基本を学び、自分のポートフォリオサイトを制作、運用する。 ・wixの運用 ・wordpress の運用 ・バナー制作など	1 後	60	2	○			○		○		
○			アニメーション	各種アニメーション、動画制作ソフトを併用し、アニメーションコンペの応募を目指す。	2 前後	120	4	○			○		○		
○			3D基礎	3DCG制作ソフトの基本を学ぶ。3Dモデリングを通じて作品のクオリティ向上を目指す。	2 前	60	2	○			○		○		
合計					9科目	1020単位時間( 34単位)									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件は、1800時間以上かつ60単位以上を満たすものとする。 また、必修選択科目は指定されている科目数を必ず履修する必要がある。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

## 授業科目等の概要

(商業実務専門課程デザイン学科コミックイラストコース) 令和3年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
	○		マルチメディア演習	今まで学んだ様々なグラフィックツールを総合的に運用し、ゲームコンテンツ、動画、web配信など様々なメディアに活用する。	2 前後	120	4	○			○		○		
	○		グラフィックデザイン	主にDTPソフトを使用してその実戦的技術を学習する ・グラフィックデザイン(冊子誌面レイアウト) ・ロゴデザイン、リーフレットなど、デザイン業務を想定した課題制作。	2 前後	120	4	○			○		○		
	○		マンガ制作	ストーリーマンガ制作を主軸としたマンガ執筆 ・プロットの作り方 ・ネームの描き方 ・CGツールを利用した制作と仕上げ	2 前後	240	8	○			○			○	
		○	キャリアデザイン	主に就職活動を中心とした進路指導 ・自己PR、志望動機作成 ・面接指導 ・個人カウンセリング	1 後	30	1	○			○		○		
		○	卒業制作	卒業・進級制作展に展示することを目標として、2年間の集大成としての作品制作	2 後	120	4	○			○		○		
合計			5科目		630単位時間( 21単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件は、1800時間以上かつ60単位以上を満たすものとする。 また、必修選択科目は指定されている科目数を必ず履修する必要がある。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地															
東日本デザイン&コンピュータ専門学校		昭和61年3月10日		小林 一英		〒379-2184 群馬県前橋市小屋原町1098-1 (電話) 027-267-1171															
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地															
学校法人山崎学園		昭和42年3月31日		遠山 嶺		〒379-2184 群馬県前橋市小屋原町1145-1 (電話) 027-267-7945															
分野		認定課程名		認定学科名		専門士	高度専門士														
商業実務		商業実務専門課程		デザイン学科(グラフィックデザインコース)		平成17年文部科学大臣告示第177号	なし														
学科の目的 本校は、学校教育法に基づき、教養教育と専門教育が調和した幅広い技術教育を行い、アート・デザイン分野及びCG・ゲーム分野に関する知識技術を習得させ、もって産業界並びに社会公共に貢献できる人材を育成することを目的とする。																					
認定年月日 平成26年3月31日																					
修業年限		昼夜		講義		演習	実習														
2年		1800時間				2160時間															
生徒総定員		生徒実員		留学生数(生徒実員の内)		専任教員数	兼任教員数														
240人		16人(122人の内数)		0人		7人	12人														
総教員数		19人																			
学期制度		■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～3月31日		成績評価		■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 学期末試験、実習の成果、出席状況等を総合的に勘案															
長期休み		■学年始め: 4月1日～4月7日 ■夏季: 7月22日～8月25日 ■冬季: 12月24日～1月10日 ■学年末: 3月22日～3月31日		卒業・進級条件		校長が成績評価の基準に従い認定する。															
学修支援等		■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 担任及び学生指導委員による対応		課外活動		■課外活動の種類 学生会組織、部愛好会、インターンシップ等  ■サークル活動: 有															
就職等の状況※2		■主な就職先、業界等(令和2年度卒業生)  ■就職指導内容 担任および就職部による面接練習等  ■卒業生数 : — 人 ■就職希望者数 : — 人 ■就職者数 : — 人 ■就職率 : — % ■卒業生に占める就職者の割合 : — %  ■その他 : — %  (令和2年度卒業生に関する令和3年5月1日時点の情報)		主な学修成果(資格・検定等)※3		■国家資格・検定/その他(民間検定等) (令和2年度卒業生に関する令和3年5月1日時点の情報) <table border="1"> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> <tr> <td>Illustratorクリエイター能力認定試験</td> <td>③</td> <td rowspan="4">新設コースのため、実績なし</td> <td rowspan="4"></td> </tr> <tr> <td>Photoshopクリエイター能力認定試験</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>色彩検定</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>POP広告クリエイター技能審査試験</td> <td>③</td> </tr> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)  ■自由記述欄		資格・検定名	種	受験者数	合格者数	Illustratorクリエイター能力認定試験	③	新設コースのため、実績なし		Photoshopクリエイター能力認定試験	③	色彩検定	③	POP広告クリエイター技能審査試験	③
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																		
Illustratorクリエイター能力認定試験	③	新設コースのため、実績なし																			
Photoshopクリエイター能力認定試験	③																				
色彩検定	③																				
POP広告クリエイター技能審査試験	③																				
中途退学の現状		■中途退学者 一名  ■中途退学の主な理由  ■中退防止・中退者支援のための取組 担任及び退学防止委員会による対応		■中退率 5.6%																	
経済的支援制度		■学校独自の奨学金・授業料等減免制度 : 有 待制度  ■専門実践教育訓練給付 : 無																			
第三者による学校評価		■民間の評価機関等から第三者評価 : 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																			
当該学科のホームページURL		http://www.yamasaki.ac.jp/design-com/																			

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業生に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知(25文科生第596号))」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

- (1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について
- ①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。
- ②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。
- ③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年度に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

- (2)「学校基本調査」における「卒業生に占める就職者の割合」の定義について
- ①「卒業生に占める就職者の割合」とは、全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいいます。
- ②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。
- ③上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1) 教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

本校の目的に応じて、情報通信業界の要請を十分に生かしつつ職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成するため、教育課程の編成において企業等が委員として参画する「教育課程編成委員会」を設置し、より実践的な職業教育の質の確保に組織的に取り組むものとする。

(2) 教育課程編成委員会等の位置付け

細則で「教育課程編成委員会」を学内に設置することを定め、学校組織図に明記し、位置づけを明確にしている。教育課程編成委員会は、意見を教務部に提出し、教務部において教育課程を編成し、校長及び理事会の承認をへて最終決定している。

(3) 教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和3年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
小林 一英	東日本デザイン&コンピュータ専門学校 校長	令和3年4月1日 ~ 令和4年3月31日(1年)	
朝日 泰博	東日本デザイン&コンピュータ専門学校 教務部長(デザイン学科)	//	
石川 靖	群馬県印刷工業組合	//	①
齋藤 徹	エイチレフ合同会社	//	③
平田 耕一郎	東日本デザイン&コンピュータ専門学校 学科長(デザイン学科)	//	

\*委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ① 業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ② 学会や学術機関等の有識者
- ③ 実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4) 教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(開催日時)

年間開催数:2回(毎年5月、11月)

(5) 教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

「教育課程編成委員会」において各委員より出された意見を取り入れ、教務部において具体的な科目設定、授業内容の検討を行いカリキュラムを作成する。例えば、自分の作品に対する著作権について、PixivやTwitterなどでのリスク管理法や、著作権の問題を回避ための画像加工技術も学ばせるようにした。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業等の要請を踏まえ、専攻分野に関わる職業において即戦力とし活躍でき人材育成を目指す。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

専攻分野に関わる企業等において豊富な実務経験を有し、業界の動向に知見を有する講師を選任し、実習・演習等の内容及び学修成果の達成度評価について打ち合わせを行い担当教員と連携しながら授業運営を行う。

(3) 具体的な連携の例

科目名	科目概要	連携企業等
Web基礎	・XDによるデザインカンプ制作 ・HTML、CSSの理解 ・Dreamweaverの操作方法 ・ポートフォリオサイトの制作	エイチレフ合同会社

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

細則ならびに研修規程に基づき、教育効果の向上のため、企業等が開催する研修会等へ参加をし、知識、技術、技能などの修得に勤め、担当業務等の遂行に当たり質の高い授業運営ができるようにしている。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

全教職員を対象に、関連業界団体・企業が主催する実務に関する知識・技術・技能についての下記講習会等に参加し専攻分野毎に実務研修を行った。

- ・令和2年6月26日(1日) ワコムクリエイターズカレッジクラブ主催 マンガイラスト業界セミナー
- ・令和2年7月27日(1日) ワコムクリエイターズカレッジクラブ主催 スタジオコロリドウェビナー
- ・令和2年9月4日(1日) 文化庁、群馬県主催 令和2年度著作権セミナー

② 指導力の修得・向上のための研修等

全教職員を対象に、外部実務家講師による生徒に対する指導力等の修得・向上のための研修会

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

全教職員を対象に、関連業界団体・企業が主催する実務に関する知識・技術・技能についての研修会等に参加し専攻分野毎に実務研修を行う。

② 指導力の修得・向上のための研修等

全教職員を対象に、指導力の修得・向上を目指し各方面の有識者を講師として招聘し講習会を開催する。  
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため全職員集合しての対面講習会について昨年度は中止

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

教育効果の向上のため、企業等が開催する研修会等へ参加をし、知識、技術、技能などの修得に勤め、担当業務等の遂行に当たり質の高い授業運営ができるようにする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	理念・目的・育成人材像・学校の特色等
(2) 学校運営	事業計画・人事や賃金での処遇に関する制度等
(3) 教育活動	教育目標・育成人材像と業界ニーズ・資格取得体制等
(4) 学修成果	就職率の向上・卒業生在校生の社会的活躍と評価等
(5) 学生支援	就職指導に関する体制・課外活動に対する支援体制等
(6) 教育環境	施設設備の整備状況等
(7) 学生の受入れ募集	適正な学生募集活動・教育成果の適正な報告
(8) 財務	中長期における財務基盤の安定・財務に関する適正な会計監査
(9) 法令等の遵守	法令、設置基準等の遵守と運営・個人情報保護に関する対策
(10) 社会貢献・地域貢献	
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

「教員研修を充実し、教職員のモチベーション向上をさらに推進してほしい」との意見があり、教職員研修委員会において、教職員全員参加の集合研修や分野別に各教職員の実務研修の充実を図っている。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和3年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
神澤 紀江	東日本デザイン&コンピュータ専門学校(ビジネス2校) 父母の会会長	令和3年4月1日 ~ 令和4年3月31日(1年)	PTA
鈴木 誠	一般社団法人 群馬県情報サービス産業協会理事	〃	企業委員
廣田 毅文	有限会社 富士メディアサービス 代表取締役	〃	企業委員
根岸 誠	フジコー株式会社 代表取締役	〃	企業委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。  
(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

URL: <http://www.yamasaki.ac.jp/design-com/14.html>

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

社会に対する説明責任を果たし、社会全体からの信頼および企業等との連携や協力を得る。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	校長名・所在地・連絡先等・特徴・沿革、教育目標・経営方針・教育指導計画・諸活動に関する計画
(2)各学科等の教育	入学者選抜の方針・方法、定員数・入学者数・在学者数・カリキュラム等進級・卒業の要件等、取得を目指す資格、合格を目指す資格等、資格取得、検定試験合格等の実績、卒業者数、卒業後の進路
(3)教職員	教職員数、教職員の組織・専門性
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み状況、実習・実技への取り組み状況、就職支援への取り組み状況
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事への取り組み状況、課外活動(サークル活動、学生会活動)等の状況
(6)学生の生活支援	学生支援への取り組み状況
(7)学生納付金・修学支援	学生納付金の取扱、活用できる就学支援措置の内容
(8)学校の財務	事業報告書、貸借対照表、収支計算書、監査報告書など
(9)学校評価	自己評価・学校関係者評価の結果
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

URL:<http://www.yamasaki.ac.jp/design-com/14.html>

## 授業科目等の概要

(商業実務専門課程デザイン学科グラフィックデザインコース) 令和3年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			色彩論	色彩に関する理論や様々な知識を学習し、また実践的な活用も習得する ・色彩科学・色彩心理・色彩調和(配色) ・色彩と生活(ファッション・インテリア)	1 前後	60	2	○			○			○	
○			ビジネスマナー	・ビジネスマナーの基本学習(社会人としてのマナーを身につける) ・話し方・敬語の使い方 ・指示の受け方と報告・連絡・相談 ・電話対応、来客対応	1 前後	60	2	○			○			○	
○			Word	・Microsoft Word基本操作 文字入力・文書作成・表作成 ・ビジネス文書のライティング技術 ・電子メールのライティング技術	1 前・ 2 前	60	2	○			○			○	
○			Excel	・Microsoft Excel基本操作 データ入力・関数・表の作成 ・グラフの作成 ・データベース	1 後・ 2 後	60	2	○			○			○	
		○	コースミートニング	LHR的な位置づけの授業科目 ・就職活動への準備と対策 自己分析・業種・職種研究 筆記及び面接試験対策 ・各種検定試験対策	1 前後・ 2 前後	120	4	○			○			○	
		○	校外研修・特活	普段校内で得られない幅広い専門知識や経験を得ることと並びに自立心、協調性などの育成を目的とする ・校外研修(美術展鑑賞など)・スポーツ大会	1 期間・ 2 期間	60	2	○			○		○		
		○	学園祭	本校学園祭における催し企画立案から準備作業、学園祭当日の運営まで一連の作業を通して、自立心、協調性などの育成を目的とする	1 期間・ 2 期間	60	2	○			○		○		
○			デッサン	静物、人物などを写生することを通して、立体としての物の見え方や空間認識を学びながら基礎的な造形感覚を養成 ・デッサン概説・用具の使い方 ・構図のとり方・空間のとらえ方	1 前後・ 2 前後	240	8	○			○			○	
○			造形基礎演習	平面構成を中心にして基礎造形力を養成 ・画材用具と混色方法・配色と構図 ・対比(明暗、大小、距離)	1 前後	120	4	○			○		○		
合計					9科目	840単位時間(28単位)									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件は、1800時間以上かつ60単位以上を満たすものとする。 また、必修選択科目は指定されている科目数を必ず履修する必要がある。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。



## 授業科目等の概要

(商業実務専門課程デザイン学科グラフィックデザインコース) 令和3年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			クリエイティブデザイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デザインの基礎技術や、表現技法を学ぶ</li> <li>・適切な表現方法の選択</li> <li>・コンペへの応募</li> <li>・ポートフォリオ作成などへの対応</li> </ul>	1 前後・2 前後	240	8	○			○	○			
○			Illustrator 演習	Illustratorの基本操作からパス描画やグラフィックデザインの基礎技術を学習する ・ツールの使い方、効果 ・パスを使ったオブジェクト描画 ・印刷物のレイアウト技術	1 前	60	2	○			○	○			
○			Photoshop 演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Photoshop操作の基礎</li> <li>・画像合成やレタッチなどの演習</li> <li>・保存形式などの適切な処理</li> <li>・検定への対策</li> </ul>	1 後	60	2	○			○	○			
○			デジタルイラスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペイント系CGソフトの基本操作</li> <li>・ペンタブレットを活用したペイント技術</li> <li>・CGイラストの表現技法、テクニック学習</li> <li>・キャラクターデザイン ・デジタルマンガ</li> <li>・背景、エフェクト表現</li> </ul>	1 前	60	2	○			○	○			
○			POP広告デザイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・POP広告の基本知識・技法について</li> <li>・基本書体について</li> <li>・レイアウトについて</li> <li>・POP検定対策</li> </ul>	1 前	30	1	○			○	○			
○		○	コンペ対策	デザイン、美術に関連するコンペティションに応募、入賞を目指し作品を制作 ・各種コンペの傾向と対策	1 前・2 前	60	2	○			○	○			
○			フォトテクニック	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル一眼レフカメラの知識、使用方</li> <li>・カメラ・撮影に関する基本的な知識、技術習得</li> <li>・写真のレタッチ・広告での使用法などの演習</li> </ul>	1 後	60	2	○			○	○			
○			DTP基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用語や印刷知識</li> <li>・サムネイル、ラフの制作</li> <li>・レイアウト作品演習</li> </ul>	1 後	60	2	○			○	○			
○			Web基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・XDによるデザインカンパ制作</li> <li>・HTML、CSSの理解</li> <li>・Dreamweaverの操作方法</li> <li>・ポートフォリオサイトの制作</li> </ul>	1 後	60	2	○			○		○	○	
合計					9科目	690単位時間( 23単位)									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件は、1800時間以上かつ60単位以上を満たすものとする。 また、必修選択科目は指定されている科目数を必ず履修する必要がある。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

## 授業科目等の概要

(商業実務専門課程デザイン学科グラフィックデザインコース) 令和3年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			DTP概論	・ 広告物製作工程、専門用語の理解 ・ 写真、製本、印刷工程の理解 ・ 紙媒体とデジタルメディアについて	1 後	30	1	○			○				
○			DTP演習	・ Indesignの操作方法 ・ 誌面構成の理解 ・ 製本基礎 ・ 立案から制作までのワーク フロー ・ CI計画の演習	2 前 後	120	4	○			○				
○			Web演習	・ Webサイト制作演習 ・ Web、インターネットの活用法、知識習得	2 前 後	120	4	○			○			○	
○			マルチメディア演習	様々なデジタル表現に対応できる技術力、 発想力を身につける。 ・ 3DCG基礎 ・ 映像編集	2 前 後	120	4	○			○				
○			VD・CI計画	・ グラフィックデザインの概論 ・ 広告やWeb上で印象に残るビジュアル表現 研究 ・ CIの概要から制作、提案	2 前 後	120	4	○			○				
○			デザイン史	近代デザイン史を中心に19世紀後半から現在までのデ ザイン、建築、アートの動向について概観していく ・ アーツ&クラフツ運動からバウハウス ・ モダニズムからポストモダン	2 前	30	1	○			○				
		○	一般常識	就職試験に向けた一般常識の学習 ・ 筆記試験対策 ・ 面接試験対策	1 後	30	1	○			○				
		○	卒業制作	卒業・進級制作展に展示することを目標とし て、2年間の集大成としての作品制作	2 後	60	2	○			○				
合計					8科目		630単位時間( 21単位)								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件は、1800時間以上かつ60単位以上を満たすものとする。 また、必修選択科目は指定されている科目数を必ず履修する必要がある。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。